

第3回「三世代をつなぐ 駒カフェ(保護者対象)」2021/8/7 開催の報告

2021年8月7日(土) 12時30分～14時30分、第1会議室において、在校生～保護者～OB 世代間交流プロジェクト 第3回「三世代をつなぐ 駒カフェ(保護者対象)」が開催された。開催日は、夏休み中であり、新型コロナウイルスの感染拡大、連日の猛暑、台風の影響による雨も心配もあり、スタッフは不安を抱えての開催となった。

参加保護者 7名(中1:1名、中2:2名、高1:4名)、

参加者の感想(メールも含む)

- ① いろいろなお話をお伺い出来、伺ってよかったと本当に思いました。子どもとの距離をどう取ればよいか、子どもの興味を持つ、持てる環境を作るきっかけをどう作るかを含め、見守りつつ、子どもと接していこうと思えました。他の学年の方のお話を伺えたことも参考になりました。ありがとうございました。
- ② まず また是非参加させてください!というのが最大の感想です。どうしても自分の考えに固まってしまうのですが、違った視点でお話をお聞きすることができて、とてもお充実した時間を過ごさせていただきました。失敗を含むいろいろな経験をしてもらいたいと思いつつ、先に小石をどかしてしまいそうな自分を律することが必要だと思えました。大先輩方、本当に有難うございました。次回も宜しく願いいたします。
- ③ 子どもと話す機会が少なくなり何となくこれで良いのかと思っていた所、このような企画をしていただき有難く思っております。平野先生はじめ7回生の先輩の方々やお母様方とお話ができ、改めて駒東の良さを感じる事ができました。また機会がありましたら子どもにも参加してほしいと思っております。
- ④ 7回生の色々な方がいらして、人生経験豊富な方のお話を聞かせて頂けてありがたく思います。息子にもぜひいつかこういう会に参加して楽しんでもらえたらと思えました。駒東生のあたたかさ、前校長のお人柄にも触れることができ、楽しい時間をすごさせていただきました。
- ⑤ 本日はありがとうございました。初めての会でしたので、参加するのが目的でしたが、少人数でいろいろな話を聞くことができよかったです。子ども向けの駒カフェも多く開催して頂けたらと思います。OB各年代下さるともっと色んなできるかと思えます。20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代。よろしく願い致します。



- ⑥ 色々なお話が聞けて楽しかったです。私自身、両親以外の人生の先輩方とお話をする機会がなかったので良い経験になりました。生き方や子育ては正解がないものですが、やはり子どもにはよりよい人生を歩んで欲しいと思う。正解を探しがちになってしまいます。今の恵まれた世の中が子どもたちにとって実り多き人生を歩める環境になってくれることを願いますが、恵まれているからこそその難しさがあると思っています。本日はありがとうございました。
- ⑦ 学校に来る機会もあまりない中、前校長先生やOBの方々とお話することができて、最近子どもと話をすることもなかったので楽しい時間でした。
- ⑧ 土曜日の駒カフェ、楽しいひとときをすごさせていただきました。OBのみなさま、ありがとうございました。改めて駒東OBの方々のあたたかさ、時を経ても変わらない同窓生の信頼関係、絆の深さを実感いたしました。色々な方とお話する機会が減っている中、このような会に参加することができ、感謝いたします。壇上にいらっしゃった遠くの平野先生と今日は同じお部屋のお近くでお話できましたこと、大変嬉しく思います。また機会がありましたら、平野先生のお話をじっくり聞かせていただきたく思います。開催に向けてご準備くださり、ありがとうございました。
- ⑨ 本日、駒カフェでお世話になりました、この度は、本当に楽しい時間を過ごさせて頂きました！駒カフェで、他の保護者の方々の悩み、大先輩のOBの方々のお考え等をお聞きして、自分ひとりで考えて悩まなくても良いのだな……と思えました。帰宅して息子に、「何を話したの？何て言われたの？」と聞かれました。「良い息子さんじゃないですか！と褒めて頂いて、かえって息子自慢になっちゃったわ～」と申しましたら、嬉しそうに照れておりました。本当にありがとうございました。どうぞ、OBの皆様にも宜しくお伝え下さい。また次回を楽しみにしております。

OBスタッフの感想

- ① 当日朝 駒カフェがうまくいくことを願いました。保護者のみなさまが気持ちよくリラックスして話をしてくださいますように。結果はみなさまが積極的に話題を出してくださり、“楽しかった”と喜んでくださる方が何人もいました。よかった。駒カフェは始まったばかり。これからです。
- ② 子離れ、親離れの双方のかけひきのレベルや内容の多様性に接することができ新鮮でした。形式ばらない駒カフェがこうした課題について共有できる場となれば、それなりの存在意義があるように感じました。今回の人数程度であれば、進行の仕方を工夫することで、グループ分けがなくてもよかったかもしれないとも思いました。
- ③ ご参加された保護者の皆様の具体的なお話を伺い、有意義な成果を得られたと思います。未だ潜在するであろう課題を含めた全体像、深さは追求しきれていないのですが、今後に向けて完成度を上げていきたいと思っています。具体的な一つの課題と思ったのは、生徒のネット上情報への過剰な依存傾向が見られた事です。利便性のみを追求し続けると人間としての能力が低下していくという事は、あまり意識されていないという点でした。このような傾向は数十年も前からいろいろと指摘されてきましたが、ゆっくりと進む症状悪化は要注意だと思いました。地球温暖化の問題と似ているのかもしれませんが、何とか解決策を見つけていかないと気がついてからでは手遅れとなります。この件については会の中でお話をしましたが、今後に向けて皆さんと共に何らかの答えを追求していけたらと考えています。

- ④ 7名のお母様が参加された、楽しい会でした。聡明で快活な皆様は、子供さんたちとの対話を、誇らしく話されていると感じました。今更ですが、親の気持ちのありがたさに触れる機会をいただけたことに、感謝します。母親が子供を思い、期待する気持ちは普遍で、社会を動かす原動力であることを、再認識しました。同時に、子供との対話に、少なからず戸惑いを持っておられるとも感じました。自分の経験からしか、回りを見ることができない。このことを理解するのは、容易ではないと思います。人生経験を積んで始めて獲得できるのが「耳順」(みみしたがう)である、と中学の授業で習いました。子供さんと経験や見方が異なりますので、判断に違いが生じるのは当然であると思います。この認識と、自分の信念を持って、子供と接することが重要であると思います。意見や思いが違って、一緒に考え悩むことは、必ず子供に通じると思います。子供の思いを認めることや、挑戦を見守ることが難しいことは、いつの世も変わらないのでしょうか。経験が少ない子供にとっては、特に将来には未知が多い。その未知に挑戦し、同時に問題意識を持つことが、夢を育むことになると思います。挑戦することより、安定を求める風潮については、今後の話題になると思いました。
- ⑤ 今回は、ともかく、お母さま方がご自分の子どもをしっかり見つめている姿を見せていただきました。7回生の私たちはお母さま方とほぼ一致する年代の子どもたちを育て上げました。半世紀を経た73歳の駒東の生き証人がうずうずし始めました。9月1日で74歳です。では、いまさら何をしたいのか！これから何をしたいのか！やっと3世代がそろったといいたいのです。駒東世界の中で過去を背負った爺様世代と現役の親世代と次世代を担う子ども世代がそろい踏み出来るのです。その世代でしか見えないものは次の世代ともう1つ次の世代を世代の体験として語りを通して伝えることが出来ると信じています。私の世代よりも100年遡れば、囲炉裏端での秋の夜長の語りだったのでしょうか。駒東文化はこれを強く反映できると信じています。語り継ぐことが出来ると確信しています。駒東の時代的背景の中で、駒東文化をつなげていくのはまさに今なのだと声を上げます。
- ⑥ 「駒カフェ」に興味関心を持っていただき、勇気をもって参加された保護者のみなさまに感謝します。「駒カフェ」は、子どもたちを一方向から見守るのではなく、複数のおとなが色々な角度から見守り、コミュニケーションすることで新たな発見があり、未来に繋がるきっかけ作りとなるプロジェクトだと確信しています。



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠 (駒場東邦7回生 / 前スクールカウンセラー)

平野 勲 (駒場東邦中学高等学校 特別顧問 / 前校長)

連絡先 komacafe1540001@gmail.com